

皆さんこんにちは！下関支部青年部長の椋木です。毎年恒例となりました支部だよりの担当が回ってきました。昨年度に引き続き元気に活動している下関支部について、今回は青年部の継続事業としておこなっている学生に向けた取り組みをご紹介します。

下関支部青年部では、年2回山口県立下関工科高等学校の学生に向けて課外授業を実施しています。早い段階で建築に興味を持ってもらいインターンシップ及び就職の選択肢を広げることが目的として、高校1年生・2年生を対象としています。2019年に始まったこの課外授業ですが今年で7年目となり継続事業として一定の成果を上げています。



1回目は昨年11月に高校2年生17名を対象におこないました。より深い建築の経験をしてもらおうと建築製図の基本となる木造2階建て延べ面積30坪程度のエスキスに挑戦してもらいました。プランニングが初めての生徒ばかりのため、まずは部屋のつながりを意識して機能図を作成してもらい、その後に条件に合った諸室を配置する流れで進めていきました。課題が2階建てのため階段の位置に苦労している生徒もいましたが、建築士会メンバーのアドバイスもあり段々と良いプランとなっていきました。道路からのアクセスを考えた玄関配置や水回り

の集約等アドバイス前にプランを考えていて学生の能力の高さに驚かされる場面もありました。最終的には4グループに分かれ各自プラン作成、生徒同士の話し合いでグループ内の1プランを選択、建築士会メンバーが講評させていただきました。建築プラン作成の楽しさと共に難しさを実際に感じてもらったことはとても良い経験になったのではないかと思います。



2回目は今年1月に高校1年生20名を対象におこないました。今回のテーマは、「私の仕事」ということで普段どのように仕事に携わっているかを4つのカテゴリーに分けて紹介させていただきました。今回は大きな区分として①大規模建築について②工務店について③行政について④構造設計についてまとめました。生徒は普段の授業とは違い、なじみのない言葉や疑問に思うことがあるようで、メモをしっかりと取りながら授業を聞いていました。担当の先生からは、来年もぜひお願いしたいとのことでしたので、また新たなテーマで生徒のためになるような話ができるように、これから考えていきたいと思います。仕事紹介についての授業を実施するにあたり、建築士会メンバーは資料の準備が大変ですが、自分の仕事内容を見直し魅力を再確認できる機会でもあるため、とても有意義な時間だと感じています。また他のメンバーの仕事内容を学び知識を広げることにもできるため、相互に実のある取り組みになっていると実感しています。